

北栄町議会議長 前田栄治様

北栄町議会議員 中山功一

### 議員派遣結果報告書

1	名 称	令和7年度鳥取県町村議会議員研修会
2	場 所	アロハホール（湯梨浜町）
3	期 間	令和7年11月28日（金） 1日間
4	内容・成果	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>講義：「地方議員のなり手不足の背景を考える 議員報酬・議員定数も意識して」</p> <p>講師：河村和徳氏（拓殖大学経済学部社会安全学科教授）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地方議会には改革が求められている<ul style="list-style-type: none"><li>内なる改革：自主的な改革<ul style="list-style-type: none"><li>→議員全員のベクトル合わせが難しい</li></ul></li><li>外なる改革：制度的な見直し<ul style="list-style-type: none"><li>→制度設計と現場とのギャップが大きい</li></ul></li></ul></li><li>・求められている議会とは<ul style="list-style-type: none"><li>○効率的な議会→代議制民主主義はもともと効率性が悪い</li><li>○開かれた議会→多くの声を聴くことができる議会</li><li>○政策に強い議会→政策提言できる議会</li><li>○危機に強い議会→危機下でも機能する議会</li></ul></li><li>・見える化<ul style="list-style-type: none"><li>情報公開、議会の品位</li></ul></li><li>・報酬・定数<ul style="list-style-type: none"><li>町村議員はアマチュアでいいのか<ul style="list-style-type: none"><li>(地域の代表+αが求められる)</li></ul></li><li>議決する組織としては、議員は多い方がよい（多様性）</li><li>議論する組織としては、適切な規模がある（6～10）</li></ul></li><p>講義：「住民が求める地方議会・期待される地方議会とは何か エビデンス・ベース・ポリシー・メイキング」</p><p>講師：渡辺太樹氏（社）地方公共団体政策支援機構上席研究員</p><ul style="list-style-type: none"><li>・そもそも議会とは<ul style="list-style-type: none"><li>質問・審議・審査をすること自体が目的ではない</li><li>住民福祉の向上・地域の発達を目指すことが目的</li><li>※手段と目的を間違えない</li></ul></li></ul></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民起点になっているか⇨政策レベルになっていないか</li> <li>・まちの問題と課題           <p>問題：実際に起きていて、目に見えること 課題：問題の原因となる「解決可能な取り組むべき」こと</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①現状と問題を把握する</li> <li>②原因を深掘りする</li> <li>③解決できる課題を特定する</li> <li>④政策を検討する</li> </ol> <p>※政策というアイデアや手段から入らない</p> </li> <li>・現状と問題の把握           <p>データでみると現状と問題が見えてくる</p> </li> <li>・「まちの課題とは何か」ではなく「まちの現状はどうなっているのか」ここから始めることで課題が見えてくる</li> </ul> <p><b>住民の声</b>→<b>現状把握</b>→<b>地域課題</b>→<b>総合計画</b>→<b>施策／政策</b>  <b>→予算（事前検証）</b>→<b>決算（事後検証）</b>→<b>改善</b>→<b>住民の声</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要とされている議会の役割 執行部起点 × 議会起点 = 住民福祉の向上、地域の発達</li> </ul> <p>&lt;成果&gt; 現在、進めつつある広聴機能の強化について、方向性としては間違っていないことの確証を得たので、さらに進めていく。外部からの情報収集、スキル獲得だけでなく、議員全員のベクトルを合わせるための内部の調整も必要。</p>
--	---

提出期限 令和7年12月19日（金）まで